

新刊紹介

松石治子著

指導
総合保育

表題の示す様に、實際に即して、日々の

第一章にだけ著者の保育に對する理論考の各々の材料を大きく系統的な保育案とする
察が述べられてゐるが、僅な頁數の中の、べきビントが與へられてゐるが、いかに系
いかにも論理的な簡潔なまとまりには、高統的に誘導保育にとり入れるかはこの書の
い教養からにちみ出る香氣がうかゝはれる。

あと全部が総合保育實際案といふよりむ

しろ記録で、春夏秋冬に分けられた中の各

斯う詳しく述べてある個々の総合的なも
のによる時は容易に、有意義になし得られ

る筈でもある。

綜合的な保育案を細く、説明し、まとめて

各の主題材料が一つ一つ各保育項目として

著者に親しくおめにかかる機會がまだ與

ある書である。序にある通り、實際著者の

説明され、數多の圖解を入れて説明されそ

へられない事は殘念であるが、聞けば悪ま

經驗された事を集めてあつて、綜合的とい

して周到に綜合されてゐる。尚ほその一々

れた環境に人となられ、篤志をもつて保育

ふ點が特徴なので、その綜合的といふのは

の材料が皆觀察から入つて行つてゐる事

事業にたづさはれてゐるといふ。かうきい

五つの保育項目を、「幼児の生活を幼児ら

は、度々説明にも言はれてゐるが、近世教

た時、この書に表れた斯道に對する熱と意

しく導く」やうに綜合された案であり、その

育方法論の根本である直觀教授を徹底して

氣と香氣に何か明るい快いものを感じたの

通り實行され得た結果でもあり、誠に尊い

取入れてゐる所であらう。最後の節に於て

である。(清水光子)

記録なのである。

この保育案實施上の注意がのがれであり、二